

公共住宅機械設備工事積算基準（平成 19 年度版） 正誤表 20080414

頁	編	章	節	項	項名称	訂正個所	誤	正														
30	2	2	19	1	一般事項	3(1)八	上記(1)の区分に	上記(1) 1 の区分に														
38	3	1	3	1	歩掛り	表 1.3.1 「その他」の率	9) 塗装及び保温工事 (材+労) × (12~20%) 10) 機器搬入工事 (労) × (10~20%) 11) 撤去工事 (労) × (12~20%) 12) はつり工事 (労) × (12~20%) 13) 給水配管埋設溝工事 (労) × (12~20%)	9) 保温工事 (材+労) × (12~20%) 10) 塗装工事 (材+労) × (13~18%) 11) 機器搬入工事 (労) × (10~20%) 12) 撤去工事 (労) × (12~20%) 13) はつり工事 (労) × (12~20%) 14) 給水配管埋設溝工事 (労) × (12~20%)														
50	3	2	1	2		配管工事の計上方法	表 2.1.18 割増率及び条率表(2)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">換気設備</td> <td>硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td> <td>単管型</td> </tr> <tr> <td>リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)</td> <td>二管路型</td> </tr> <tr> <td>換気用耐火二層管</td> <td></td> </tr> </table>	換気設備	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	単管型	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)	二管路型	換気用耐火二層管		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">換気設備</td> <td>硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td> <td>単管型</td> </tr> <tr> <td>リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)</td> <td>二管路型</td> </tr> <tr> <td>換気用耐火二層管</td> <td></td> </tr> </table>	換気設備	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	単管型	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)	二管路型	換気用耐火二層管
換気設備	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	単管型																				
	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)	二管路型																				
	換気用耐火二層管																					
換気設備	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	単管型																				
	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)	二管路型																				
	換気用耐火二層管																					
82,83	3	2	15	2	保温工事	表 2.15.4 配管類保温工事標準歩掛り表	グラスウール a 屋内露出 15A 保温工 0.51 同 20A 保温工 0.53 グラスウール d 1.3 グラスウール d 2 グラスウール d 1.3 (d 2) 呼び径 300 ダクト工 0.481	グラスウール a 屋内露出 15A 保温工 0.051 同 20A 保温工 0.053 グラスウール d 2 グラスウール d 1.3 グラスウール d 1.3 (d 2) 呼び径 300 ダクト工 0.484														

公共住宅屋外整備工事積算基準（平成 19 年度版） 正誤表 20080507

頁	編	章	節	項	項名称	訂正箇所	誤	正
51	3	1	2	1	材 料 価 格 等	(1)、(2)	(1) 構造主体部分に使用する鋼材、レディーミクストコンクリート 及び既製杭 (2) 木材	(1) 構造主体部分に使用する鋼材、レディーミクストコンクリート及び セメント (2) 舗装用アスファルト混合物（アスファルトプラント製品）
84	3	2	6	2	歩係り	(4)モルタルハケ 引き仕上げ	左官工の特殊 0.018 人	左官工の特殊 0.18 人
135	3	2	14	2	管類	単価表 例	遠心力鉄筋コンクリート管 250 0.500（本） 遠心力鉄筋コンクリート管 750 0.412（本）	遠心力鉄筋コンクリート管 250 5.00 （本） 遠心力鉄筋コンクリート管 750 4.12 （本）